

北都看護学科オープンキャンパス

2024

たまご祭り
同時開催

質問は随時
受け付けます

7/20土
13:30~16:00

会場

北棟1・2・3階

◎在校生エスコートシステム

なんでも質問してね！

◎看護体験がいっぱい！

一緒にいろいろ体験しちゃお♪

・看護実習室

モデル人形
シミュレーターなど

・多目的室

ベッドメイキング体験
車椅子展示

・母性小児実習室

沐浴体験
妊婦体験
赤ちゃんもいるよ！

◎わたしのお部屋公開！？

・在宅看護実習室

看護学生のお部屋をのぞいちゃお！
過去問展示
奨学金についても教えてもらえるよ♪

◎看護学生 トーク LIVE！

・第2臨床講堂

看護学生あるある？
看護学校、実際のところどうなの？？

◎お世話になっている実習施設の商品販売

◎健康チェックコーナー

・学生ホール

◎パネル展示コーナー

・第2視聴覚室

タイムスケジュール

13:30 グループに分かれて看護体験
14:30 看護学生トークLIVE
15:00 キャンパスツアー
15:45 クロージング

在校生がみなさんをエスコートします♪



北都を
まるごと
体験♪



たまご祭り

7月20日のたまご祭りには、看護学科オープンキャンパス参加者36名と、ほぼ同数の一般客の来場者があり、参加者全ての方々に学生42名と教員6名が対応させて頂きました。そのため、総勢120名ほどが集まる賑やかなお祭りとなりました。

来場者は、始め看護学科棟3階へ移動し、各実習室では学生グループから実習の内容説明を受け、その後実際に体験をして頂きました。勿論、学生の説明が必ずしもスムーズでなかったかところもあったかもしれませんが、参加者からは「学生さんは皆親切に説明してくれた」、「和気あいあいとした雰囲気が感じられた」、「親子で楽しめる良い企画だ」、あるいは、「普段、学生がどのような実習をしているかが理解できた」、あるいは、「健康チェックの結果が正常で安心した」などの感想を頂きました。また、学生さんにとっては、「自分たちが学んだことを誰かに説明することはしっかりとした学びになる」という教育効果も期待されますので、今回の企画は学生にとっても良い経験になったと考えられます。

また、だいたい看護体験が終わる頃に、参加者と卒業生をつなぐZOOM会議が開催されました。看護学生として学ぶ上での様々な質問に、ZOOMを介した卒業生や会場に来てもらった卒業生や先輩が本音で回答してもらえたことは、参加して頂いた参加者には貴重なものになったように感じられました。

また、1階の学生ホールでは、ハンドメイドの雑貨、アクセサリ、クッキー等の販売コーナーがあり、盛況でした。また、地元養蜂家による蜂蜜試食では、実際に蜂の巣からかき取った蜜を試食できたり、さらには、健康セルチェックコーナーで血管年齢や心電図の検査も受けることができ、ゆったりとした時間を過ごして頂けたようでした。本校看護学科にとっては、たまご祭りは初めてのイベントであり、今後も地域の方々との交流を深める機会として実施したいと考えています。



写真A：手洗いのチェック：手洗いで汚れが取れているかどうかを判断するため、手洗い前後の汚れ（オイル）の残り具合をブラックライトで調べているところです。お母さんが娘さんの上手な洗い方に感心していました。

写真B：赤ちゃんの着替え：お父さん、小学生の女の子、高校生も参加して、赤ちゃんのモデル人形の着替えに挑戦していました。

写真C：健康セルフチェック：ここを訪れた2組の親子づれが、血圧や血管年齢の測定をしているところです。実年齢より若く診断されると、思わず笑顔がこぼれる参加者が多かったように感じました。

写真D：聴診体験：モデル人形の胸部を聴診器で確認する実習。参加した高校生が真剣になって呼吸器疾患モデルの肺音を聞き分けようとしていました。

写真E：吸引操作の体験：モデル人形を使って人工の「たん」を吸い取る体験をした高校生は、その感触が本物そっくりだと驚いていました。

たまご祭り雑感

横隣のあさひ園と通りを隔てた旭川医大と挟まれた一角の広い敷地には、比較的重層的な校舎（ハコ）があり、毎朝、若者たちが通ってきて吸い込まれていく。中では一体どんなことをしているのかはうかがい知ることはできないし、一般人が気軽にハコに入ることはできない。一つわかっていることは、夕方になると笑顔の若者たちが楽しそうにハコから出てくることだけであり、たまにグラウンドで野球やサッカーをしている数名の学生を見受ける程度である。決して意図したことではないであろうが、学校が閉鎖的であると思われがちな話はよく聞くことである。

年に数回、入学希望者に向けて学校を紹介するための入学促進イベント（オープンキャンパス）を実施しているが、主たる対象者は高校生とその家族である。そして、このイベントに参加するためには、事前の申し込みが必要であり、いくつかの個人的な情報（氏名、年齢など）を提供しなければならない。もう少しオープンなカルチャーにできたらよいのではないかと、一教員として考えている。ハコの中で何が行われているのか入学希望者だけではなく、地域の住民はじめ、広く多くの人々に知ってほしかった。学生達も外部の人と交流する機会を作り、積極的に地域社会との接点を持つておく必要もあると思う。

そこで意を決して、事前の申し込み不要、出入り自由の学校紹介イベントとして企画したのがこの「たまご祭り」であり、令和6年7月20日に開催した。ハンドメイド雑貨、手作りクッキー、地元養蜂家の天然はちみつ試食と販売などの出店もあり、イベントを盛り上げた。参加者は36名だったが、子供づれの家族、地域の高齢者、さらには、近所の小学生たちなどにも、ありがたいことに、来校してもらえた。目標としていた参加者数は下回ったが、ここで何が行われているかは少し理解してもらえたと思う。

このイベントは、今後も継続していこうと思っている。今回は初めての試みで、全くの手探りの状態だった。振り返ってみると告知などの方法に改善の余地があったように思う。地域に根付いたオープンな学校を目指していきたい。

令和6年8月2日

看護学科教員 坂井聖康